

「血液細胞を標的とする脂質ナノ粒子を活用した核酸医薬の開発」

『急性骨髄性白血病における免疫チェックポイント分子の発現と
遺伝子/染色体異常との関連の解析と新規治療法の開発
(承認番号 2020-16-0623)』(研究代表者 今井 陽一 准教授)
にご協力いただいている患者様へ

東京大学医科学研究所附属病院では、皆様にご協力をいただき、2020 年より「急性骨髄性白血病における免疫チェックポイント分子の発現と遺伝子/染色体異常との関連の解析と新規治療法の開発（承認番号 2020-16-0623）」の研究を行ってまいりました。

このたび、造血器疾患を対象に脂質ナノ粒子を活用した核酸標的療法の開発研究を実施することにいたしました。

この研究では、「急性骨髄性白血病における免疫チェックポイント分子の発現と遺伝子/染色体異常との関連の解析と新規治療法の開発（承認番号 2020-16-0623）」にご提供いただいた試料及び診療情報も使わせていただきたいと考えております。また、1998 年 2 月から 2017 年 12 月までに当院で診断・治療を受け、当時臨床上必要と判断され、保管されていた試料及び診療情報も使わせていただきたいと考えております。ご自身の試料・情報が本研究に利用されることを望まない場合には、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

【研究の対象となる方】

2020 年 6 月以降に当院にて「急性骨髄性白血病における免疫チェックポイント分子の発現と遺伝子/染色体異常との関連の解析と新規治療法の開発（承認番号 2020-16-0623）」の研究に参加し、血液や骨髄液の採取・提供、および、情報提供をされた方。また、1998 年 2 月から 2017 年 12 月までに当院で診断・治療を受けた造血器腫瘍の患者様で、当時臨床上必要と判断され、採取された骨髄細胞もしくは末梢血細胞および診療情報の保管がある方

【研究に用いる試料・情報の種類】

試料：骨髄液、末梢血、骨髄細胞、末梢血細胞

情報：診療情報、必要に応じてゲノム・エピゲノム情報も使用します。

【研究期間】

2021 年 5 月 26 日～2026 年 3 月 31 日

【研究参加の辞退について】

試料・情報が本研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

東京大学医科学研究所・連携教授／(新領域)先進分子腫瘍学分野・教授

合山 進

電話番号：03-5449-5782

住所：〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1